

2020年3月25日

株主各位

会社名 株式会社小僧寿し
代表者名 代表取締役社長 小林 剛
(JASDAQコード: 9973)
問合せ先 経営企画部室長 毛利謙久
(TEL. 03-4586-1122)

招集通知記載事項の一部訂正について

2020年3月11日付けにてご送付いたしました当社「第52期定時株主総会招集ご通知」の記載事項の一部に訂正すべき事項がございましたので、ここにお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正のご連絡をさせていただきます。

記

1. 訂正箇所

第52期定時株主総会招集ご通知52頁

株主総会参考書類

第1号議案 第52期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）計算書類承認の件

2. 訂正内容（訂正箇所は下線を付して表示しております。）

（訂正前）

当社グループは、継続して重要な親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、前連結会計年度末に債務超過となりました。当連結会計年度には、第5回及び第6回新株予約権並びにA種類株式の発行等で、債務超過を解消しましたものの、当連結会計年度末の純資産は9百万円と脆弱であり、抜本的な資本増強が必要な状況であります。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況に対する対応策は、継続企業の前提に関する注記に記載されているが、現時点において、資本増強策が未確定である。

そのため、会計監査人は、経営者が進めている対応策についての監査証拠等、継続企業の前提として連結計算書類を作成することに関する十分かつ適切な監査証拠を入手することができなかったため、連結計算書類に及ぼす可能性のある影響の重要性に鑑み、監査意見の基礎を与える

十分かつ適切な監査証拠を入手することができなかつたため、計算書類に対して意見を表明しないとしております。

そこで、会社法第 438 条第 2 項の規定により、第 52 期計算書類について、株主様のご承認をお願いするものであります。

(訂正後)

当社は、継続して重要な当期純損失を計上し前事業年度末に債務超過となりました。当事業年度には、第 5 回及び第 6 回新株予約権並びに A 種種類株式の発行等を実施しましたが、債務超過は解消しておらず、抜本的な資本増強が必要な状況でございます。

当該状況に対する対応策は、第 52 期計算書類の個別注記表の「1. 継続企業の前提に関する注記」に記載されていますが、現時点において、具体的な資本増強策は未確定となっています。

そのため、当社の会計監査人である監査法人アリアは、当社が進めている対応策についての監査証拠等、継続企業の前提として計算書類及びその附属明細書を作成することに関する十分かつ適切な監査証拠を入手することができなかつたとして、当社の第 52 期計算書類に対して意見を表明しないとしております。

そこで、会社法第 438 条第 2 項の規定により、第 52 期計算書類について、株主様のご承認をお願いするものであります。

以 上